

総会を控えて

本部

企画部 村井孝子
委員 武藤静子、山本悦、小林正枝、宮本美沙、子、沼尻美穂子、プログラムの設置

一、Asian Fellowship Fund 設置
二、Ceylon 大学に、榮養学のコースが設置されるための援助。
① 図書寄贈
② 指導者派遣
三、その他

諸委員会と協力して、東南アジアを中心として、文化交流のため研究課題を提案
きびしい社会情勢下、大学教育を背景として、私共が協力推進して行く課題は、限りなく目前にみえる。今年、数年来、取りくんできたいくつかのテーマから具体化した、東南アジア留学生招へい(CFUWとJAUWとの協力により、現)のプロジェクトの、Howard をすること。及び有意義な研究課題の全国的実施案について考慮するという課題があった。が、片山財務委員長、今井東京支部長をまじえた委員会を一度開いただけで、いささかの前進をしたという程度であった。申しわけなく思っている。

ジャヤコディさんは、その後、榮養関係の勉強を独り、私共にあえられられた課題は、多く、困難を伴うこと

めて「日本大学婦人協会の承認した大学」とすることに意見が一致した。このように変更も一致した。款第三章第六条「この法人が承認した大学……」を変更する必要はない。変更の主な理由は大学自体が会に加盟するのではなく、その卒業生が会員となる。変更後の手続「入会希望者が承認した大学以外の大学の卒業生である場合」

二、加盟大学という名称について
数年来基準委員会ではこの「加盟大学」制度について疑問をもち、又手続上非常に困難を感じたので、色々と研究し、IFUWに問合せた結果、「加盟大学」という名称をや

事業報告 中村 道子
一、本年度の加盟申込大学
金城学院大学 (申込順)
共立薬科大学
清泉女子大学
基準委員会はこの三大学を適格と認め理事会に推薦して承認を得たので、四月の総会で審議する運びとなった。

二、加盟大学という名称について
数年来基準委員会ではこの「加盟大学」制度について疑問をもち、又手続上非常に困難を感じたので、色々と研究し、IFUWに問合せた結果、「加盟大学」という名称をや

も目にみえる。できるだけ多くの人達が、少しづつ時間とエネルギーをさいて、組織的に協力し、毎年、少づつでも前進していくのでありたい。仕事に貫性があること、委員は、できるだけ多くの人達が交代していくことが、このように、ボランティア活動が生きていくためには、継続して事業プログラムが、もちこまれるが、総会において多くの会員の新しい思いが加えられて、二十年を機として出されたJAUWのあたらしい国際プロジェクトが、更に発展していくことを祈りつつ、この拙い報告を終る。(二・十七)

「再教育の諸問題」
高等教育を受けた婦人の「態度」と題する本を發行することができた。その内容は再教育の経験から改善策、再教育の方法をあげ、総論としては今後の課題を示し、最後に付録として各国婦人の再教育の現況をあげている。
また今年度は更に大学(長期、短期)八〇〇校の再教育機関の実態を調査し、その機関の一つとして行なわれている通信教育女子学生の調査を行ない、現在そのまとめを行なっている。

四十三年度は高等教育を受けた婦人の社会活動状況と、通信教育部卒業生の実態調査を行う予定である。そして出来れば、再教育、再就職に対する意識を高めると同時に、人間の幸福な人生を生産教育によって生み出す努力をしようとする人達へ、再教育機関の進路を示すための展示会を行なう希望をもっている。

国際第一委員会
大島 清子
委員長 大島(お茶大)
書記 中村(津田)
片桐、青木(東女大)、山口、高橋、武田(日女大)、高木、清宮、山崎、宮城

「津田」前田(聖心)酒美(青山学院大)一四名
定期委員会 毎月一回開催
一年間の活動
例年行なっている事であるが遠来の会友に対するホスピタリティは単に当委員会の仕事に止らず、JAUW全体にとつて大事なことである。小さな善意の積み重ねが国際親善の一助となり、委員は交替で誠意誠意接待に当たっている。重に買物や見学のガイドで、その間にお話し相手になる事が交りを通して理解と友情につながる。

特筆すべき賓客は盛夏八月に訪日されたIFUW会長ハルバース女史であった。我々は東京支部と協力して、三ヶ月前から周到の準備の結果よい歓迎会を開く事が出来た。詳細は十月月号報に掲載したので省略する。
日本人の家庭に宿泊希望者もあるので、民宿提供の御願いを全国支部へ広くよびかけたところ、各位より善意の御申出が多数あったことは旧冬冬報に発表の通りであるが、委員会はプリントして一覽表を作成した。
IFUWの研究のテーマを取上げてJAUW全体で学ぶ為に、中心になつて活動するのが例年当委員会の大きな仕事である。今回のテーマは「一人権問題」これは今年の八月西独カールスルーエで開催される大会の主題である。このテーマの性質上「婦人地位」委員会と共同で研究委員会をもう一つ津田大学長藤田たき先生を講師にお願いして、三回のスタディミーティングを開いた。研究の結果をまとめ、これを英訳してIFUW本部へレポートとして送った。これは非常に大きな仕事で委員たちの努力は高く評価されていると思う。ちなみに和文のプリントは婦人地位委員会にて作成した。

前年度の調査の結果をまとめる
教育委員会
社 きよ

議員会に日本代表として酒美委員出席。
ユネスコよりの要請により、協力活動の一環としてインドネシア留学生の来日IFUW会員接待例年行なっている事であるが遠来の会友に対するホスピタリティは単に当委員会の仕事に止らず、JAUW全体にとつて大事なことである。小さな善意の積み重ねが国際親善の一助となり、委員は交替で誠意誠意接待に当たっている。重に買物や見学のガイドで、その間にお話し相手になる事が交りを通して理解と友情につながる。

四月 二名(米) (渡)
五月 三名(米) (渡)
六月 四名(米) (渡)
七月 二名(米) (渡)
八月 三名(米) (渡)
九月、十月、十一月、十二月 無し
二月 二名(カナダ)
二月 一名(米)

四月二日に国際第二委員会を開催。出席者は小川嘉子、東光孝子、宮沢清子、高橋きみ子等の諸婦でホテルオータニで今年度の事業の計画をいたした。
九月三日日国連代表久米愛氏歓迎会。会場は婦選会館で「22日国連の課題」について山形誠一氏の講演がなされた。
十二月十六日、「婦人に対する差別撤廃宣言記念集会」シンポジウムをふくんだ多彩な内容でNGOと七婦人団体の主催で盛況で開かれた。会場は婦選会館。
一月二七日第二回国連総会報告の講演会。三木武夫外務大臣のメッセージをはじめとして平沢和重氏講演など盛況で開かれた。会場は婦選会館。

二月十日講演会。カナダにおける都市と人口の問題と、知識階級の移住の問題について日加協会々長吉沢清次郎氏の講演。なおスライドはカナダ万博を中心として訪加親善大使館の中心委員東光孝子氏の解説がなされた。
以上簡単に経過の羅列に

おわりでしたが、次年度の委員会独自の事業計画の土台として今年度の経過は意義がたいと痛感いたしました。附記して報告いたします。
婦人の地位委員会
植山 づる
一九六七年の婦人の地位に関する主要事項をあげて報告とする。
(一)一九五一年ILO第三四回総会で採択された一〇〇号条約が、さる七月一日国連において可決された。この条約「同一価値の労働に対して男女労働者に同一の報酬」の締結のものであり、近代的社会に地位を占める働く婦人の当然のものである。これについての解説を本委員メンバーの木村愛子姉より報六八号に掲げられ、会員諸婦の広報に供したのである。
しかしいまだ日本に採択されていない一〇〇号条約「雇用および職業についての差別待遇に関するもの」は教育をうけた婦人の地位進出のうえに影響あるものとして日本の現状から努力しなければならぬ一つの課題であると考えられる。
一月七日、第二回国連総会で「婦人に対する差別撤廃宣言」が採択された。これは前文と一条からなっており、国際連合の諸国民が、国連憲章において基本的人権、人間の尊厳ならびに男女の同権を認めたの信念を再確認したものである。従来、人権に関する考慮が国連と専門諸機関やその他の文書にもあるにもかかわらず諸国において婦人に対するかなりの差別が依然として存続することからこのたびの宣言となったのである。よってこの問題は人類の福祉の寄与に役立つ婦人の能力の開発のためにも世論的にその実施を促す必要がありその普及にNGO国内婦人委員会のメンバーとして共に活動参加して来たのである。
IFUWの一九六八年の総会は国連設定の人権の年を記念して、人間の権

利と義務、知的道徳的社会的価値の再解釈を主題として討議することをなすとして、その関係上、資料として日本の人権問題を分析したレポートの提出を求められたので、そのため人権に関する特別委員会が設けられた。この構成は、委員長藤田たき(前会長)、副委員長大島清子(国連第一委員)、植山(婦人地位委員長)と委員メンバーによって行なわれ、報告書は年末本部に送付された。この報告内容を簡略すれば、まがが(わが国における人権問題の歴史として明治憲法から新憲法、および経済と社会の発展事情)の中で、(1)日本の現状(日本の人権の法制上確保されているもの、すなわち自由権的基本権、生存権、社会的権利、D人権)として家族構造の変化と消費生活、地域生活の現状(2)労働問題(法制上の婦人労働者の地位と婦人労働の現状および多くの問題点をあげ労働の権利についての課題をあげた)、(3)教育問題(教育をうける権利として教育の機会均等をあげ、日本の義務教育の現状および後期中等教育、婦人の高等教育、社会教育の発展と問題点を指摘した)。
以上の研究はメンバーのうち(1)は長尾立子高桑幸子、(2)は中田幸子、久保田真苗、(3)は山口真、竹内和子の諸婦を中心として行なわれ、この英訳は国際第一の方々によって作成されたことを報告する。

秋田支部
当支部では会員62名で、其内教職に従事している方は20名、放送局その他が12名で、会の為実際に働ける方は10名位です。会を開きます時は、当番制になっておりまして、お勤めの方も一生懸命働いて下さり、一回の集りに20名から30名前後出席して下さい。本年度は、七月に市内三大学女子学生との座談会を開

き、十五名の学生と二十名の会員が集まり大学入学的目的、大学生活の現状、大学生生活のプラスマイナス等に就いて活発で有意義な意見が交わされ、又在学生側から、人生経験者である会員への盛んな質問もありました。当日の会の模様は写真と共に、魁という地方新聞に紹介されたので社会的意義も大いにあったと思

長)植山(前会長)と委員メンバーによって行なわれ、報告書は年末本部に送付された。この報告内容を簡略すれば、まがが(わが国における人権問題の歴史として明治憲法から新憲法、および経済と社会の発展事情)の中で、(1)日本の現状(日本の人権の法制上確保されているもの、すなわち自由権的基本権、生存権、社会的権利、D人権)として家族構造の変化と消費生活、地域生活の現状(2)労働問題(法制上の婦人労働者の地位と婦人労働の現状および多くの問題点をあげ労働の権利についての課題をあげた)、(3)教育問題(教育をうける権利として教育の機会均等をあげ、日本の義務教育の現状および後期中等教育、婦人の高等教育、社会教育の発展と問題点を指摘した)。
以上の研究はメンバーのうち(1)は長尾立子高桑幸子、(2)は中田幸子、久保田真苗、(3)は山口真、竹内和子の諸婦を中心として行なわれ、この英訳は国際第一の方々によって作成されたことを報告する。

秋田支部
当支部では会員62名で、其内教職に従事している方は20名、放送局その他が12名で、会の為実際に働ける方は10名位です。会を開きます時は、当番制になっておりまして、お勤めの方も一生懸命働いて下さり、一回の集りに20名から30名前後出席して下さい。本年度は、七月に市内三大学女子学生との座談会を開

き、十五名の学生と二十名の会員が集まり大学入学的目的、大学生活の現状、大学生生活のプラスマイナス等に就いて活発で有意義な意見が交わされ、又在学生側から、人生経験者である会員への盛んな質問もありました。当日の会の模様は写真と共に、魁という地方新聞に紹介されたので社会的意義も大いにあったと思

長)植山(前会長)と委員メンバーによって行なわれ、報告書は年末本部に送付された。この報告内容を簡略すれば、まがが(わが国における人権問題の歴史として明治憲法から新憲法、および経済と社会の発展事情)の中で、(1)日本の現状(日本の人権の法制上確保されているもの、すなわち自由権的基本権、生存権、社会的権利、D人権)として家族構造の変化と消費生活、地域生活の現状(2)労働問題(法制上の婦人労働者の地位と婦人労働の現状および多くの問題点をあげ労働の権利についての課題をあげた)、(3)教育問題(教育をうける権利として教育の機会均等をあげ、日本の義務教育の現状および後期中等教育、婦人の高等教育、社会教育の発展と問題点を指摘した)。
以上の研究はメンバーのうち(1)は長尾立子高桑幸子、(2)は中田幸子、久保田真苗、(3)は山口真、竹内和子の諸婦を中心として行なわれ、この英訳は国際第一の方々によって作成されたことを報告する。

秋田支部
当支部では会員62名で、其内教職に従事している方は20名、放送局その他が12名で、会の為実際に働ける方は10名位です。会を開きます時は、当番制になっておりまして、お勤めの方も一生懸命働いて下さり、一回の集りに20名から30名前後出席して下さい。本年度は、七月に市内三大学女子学生との座談会を開

き、十五名の学生と二十名の会員が集まり大学入学的目的、大学生活の現状、大学生生活のプラスマイナス等に就いて活発で有意義な意見が交わされ、又在学生側から、人生経験者である会員への盛んな質問もありました。当日の会の模様は写真と共に、魁という地方新聞に紹介されたので社会的意義も大いにあったと思

支部

秋田支部
当支部では会員62名で、其内教職に従事している方は20名、放送局その他が12名で、会の為実際に働ける方は10名位です。会を開きます時は、当番制になっておりまして、お勤めの方も一生懸命働いて下さり、一回の集りに20名から30名前後出席して下さい。本年度は、七月に市内三大学女子学生との座談会を開

き、十五名の学生と二十名の会員が集まり大学入学的目的、大学生活の現状、大学生生活のプラスマイナス等に就いて活発で有意義な意見が交わされ、又在学生側から、人生経験者である会員への盛んな質問もありました。当日の会の模様は写真と共に、魁という地方新聞に紹介されたので社会的意義も大いにあったと思

長)植山(前会長)と委員メンバーによって行なわれ、報告書は年末本部に送付された。この報告内容を簡略すれば、まがが(わが国における人権問題の歴史として明治憲法から新憲法、および経済と社会の発展事情)の中で、(1)日本の現状(日本の人権の法制上確保されているもの、すなわち自由権的基本権、生存権、社会的権利、D人権)として家族構造の変化と消費生活、地域生活の現状(2)労働問題(法制上の婦人労働者の地位と婦人労働の現状および多くの問題点をあげ労働の権利についての課題をあげた)、(3)教育問題(教育をうける権利として教育の機会均等をあげ、日本の義務教育の現状および後期中等教育、婦人の高等教育、社会教育の発展と問題点を指摘した)。
以上の研究はメンバーのうち(1)は長尾立子高桑幸子、(2)は中田幸子、久保田真苗、(3)は山口真、竹内和子の諸婦を中心として行なわれ、この英訳は国際第一の方々によって作成されたことを報告する。

秋田支部
当支部では会員62名で、其内教職に従事している方は20名、放送局その他が12名で、会の為実際に働ける方は10名位です。会を開きます時は、当番制になっておりまして、お勤めの方も一生懸命働いて下さり、一回の集りに20名から30名前後出席して下さい。本年度は、七月に市内三大学女子学生との座談会を開

き、十五名の学生と二十名の会員が集まり大学入学的目的、大学生活の現状、大学生生活のプラスマイナス等に就いて活発で有意義な意見が交わされ、又在学生側から、人生経験者である会員への盛んな質問もありました。当日の会の模様は写真と共に、魁という地方新聞に紹介されたので社会的意義も大いにあったと思

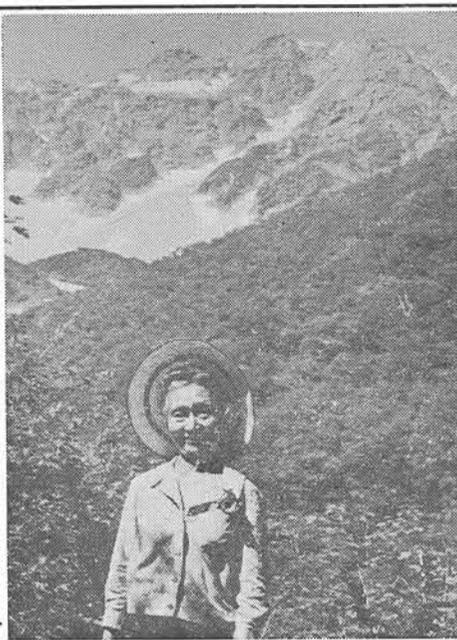
長)植山(前会長)と委員メンバーによって行なわれ、報告書は年末本部に送付された。この報告内容を簡略すれば、まがが(わが国における人権問題の歴史として明治憲法から新憲法、および経済と社会の発展事情)の中で、(1)日本の現状(日本の人権の法制上確保されているもの、すなわち自由権的基本権、生存権、社会的権利、D人権)として家族構造の変化と消費生活、地域生活の現状(2)労働問題(法制上の婦人労働者の地位と婦人労働の現状および多くの問題点をあげ労働の権利についての課題をあげた)、(3)教育問題(教育をうける権利として教育の機会均等をあげ、日本の義務教育の現状および後期中等教育、婦人の高等教育、社会教育の発展と問題点を指摘した)。
以上の研究はメンバーのうち(1)は長尾立子高桑幸子、(2)は中田幸子、久保田真苗、(3)は山口真、竹内和子の諸婦を中心として行なわれ、この英訳は国際第一の方々によって作成されたことを報告する。

秋田支部
当支部では会員62名で、其内教職に従事している方は20名、放送局その他が12名で、会の為実際に働ける方は10名位です。会を開きます時は、当番制になっておりまして、お勤めの方も一生懸命働いて下さり、一回の集りに20名から30名前後出席して下さい。本年度は、七月に市内三大学女子学生との座談会を開

貞方春野姉を悼む

武市千代子

あまりにも突然のご逝去... 二ヶ月余を経た今でも...



私(羽のボ)が、おぼろげに...

今井よねさんの事

杉野美恵

今井さんが副会長をお勤めから選んで出席する方...



今井さんのお洒落でいらして...

て、アルプス登山をなさった... 懐かしい思い出である...

五月四月 一九六七年度奨学... 奨学委員六名...

さんのお長い御生活のことや... お仕事の事など無慮な...

(二面より本部つづき) 国内奨学委員会...

九月初 地方支部(二八)と東京支部(加盟大学二)...

IFU ニュース 酒美多恵子... 第五十一回評議委員会...

めたところでしたがそれで... 東京の真夏の気温に相当...

IFU W会長ハッセル博... 士から初めにIFU Wの目...

討論会は 一、宗教、思考、発表、教育の自由...

の五票から九票、次が英国... 五から八、日本は五から...

IFU Wで発行するニ... ユースターは今年から会...

会議中各代表者は活潑に... 意見を述べ、議事も面白く進...

(二面より支部報告つづき) 札幌支部 本年度の仕事...

古文、現代文の二本立てで... 七年つづけてきた...

予定である、学生を招く... 極端に応援して、出席をす...

〇例会 六月... 講演 「近代社会における婦人の地位」...

〇その他の活動 △婦人問題協議会に参加 △亮春防止対策協議会に...

〇役員 支部長 八馬 広 副支部長 高原登美子...

ばかりの講師に、スライド... を使ってお話し頂きました...

〇新役員とリーダーとの懇談会(六月二十一日)

〇九月十七日 日帰り見学として、町人の古都、白壁の町、民芸美術の宝庫倉敷を訪ね、鷺羽山にドライブして、日頃の騒然たる生活から暫らく離れて英気を養いました。

昭和43年度大学婦人協会予算試案

(昭和43.3.1~昭和44.2.28)

Table with columns for 'Income' (収入) and 'Expenditure' (支出), listing various financial items and their amounts.

神奈川支部 小山 ひで
一、支部の諸集会
1. 総会
2. 講演会
3. 映画会
4. 見学
大倉陶園(我が国最高)

会員の皆様お元気ですか。
この間、真方春野様今井
と悲しみに、只茫然として
なされた。神戸の総会
を聞き、只茫然として

愛知支部 栗本志津子
「来年度への期待」を
「御指導を戴きました」
「来年度への期待」を

金獲得の実もあがって、一
石二鳥の効果があったと思
います。
他面、これ迄実現を見な

四月七日 委員会、支部総
四月二十八日 ジョイント
四月三十日 支部総会、本
五月二十七日 例会、講師

「再教育の諸問題」
高野 フミ
「アホドリ」
(藤沢格著・刀江書院)

育は、この二、三年間に、
急にジャーナリズムにとり
伊豆島鳥だけが知られて

「再教育の諸問題」
高野 フミ
「アホドリ」
(藤沢格著・刀江書院)

育は、この二、三年間に、
急にジャーナリズムにとり
伊豆島鳥だけが知られて

育は、この二、三年間に、
急にジャーナリズムにとり
伊豆島鳥だけが知られて

育は、この二、三年間に、
急にジャーナリズムにとり
伊豆島鳥だけが知られて